



カラスノエンドウ



大雄山線

足柄ふれあいの村の鉄道の最寄り駅は大雄山駅です。小田原駅から伊豆箱根鉄道大雄山線に乗り、約二十分で終点の大雄山駅に到着します。車窓からは田園風景や工場、学校、そして明神ヶ岳、矢倉岳、富士山、丹沢の山々も遠くに望むことができます。百年程前からこの路線を走り続けていて、地域の人々にとっては大事な交通手段です。以前は赤褐色の車両だけでしたが、いつの頃から水色や黄、橙、緑、紫と色様々になり、楽しみも増えました。この春、桜色の車両も登場し心踊っています。

## 今、ふれあいの村では・・・

3月中でも雪がちらつく日もありましたが、ようやく日中は春らしい陽気となってきました。ここ2週間ほどで色々な桜が咲き始め、晴れの日には青空にピンク色の花びらが映えています。◆金太郎広場にはこの時期ひと際目立つ「カンヒザクラ」が花を咲かせています。半分閉じたように咲きますが、満開でも半開きで、釣り鐘状に下向きに咲くのが特徴です。

◆「ダイユウベニザクラ」の蕾がまだ小さいですが少しずつ膨らみ始めています。「ダイユウベニザクラ」は「カンヒザクラ」と「ソメイヨシノ」の自然交配によって生まれた南足柄市大雄町の固有種です。近隣の「花咲く里山」は、この桜の名所となっております。この時期多くの方が訪れ里山の風景を楽しまれています。



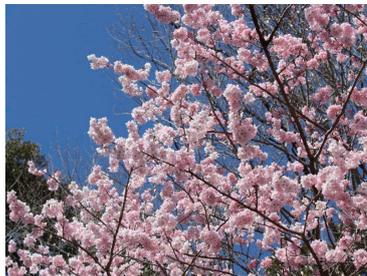
カンヒザクラ



ダイユウベニザクラの蕾



ミツマタ



ハルメキ



シダレウメ



カワヅザクラ

### イロハモミジ

春、イロハモミジの枝には小さい芽がたくさんできて少しずつふくらんでいく。ある日、芽を包んでいた皮が破れて、くしゃくしゃのはっぱがあらわれるんだ。

生まれただばかりの黄緑色の柔らかいはっぱは、まるで伸びをするようにしわを広げていくよ。



野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。

## ★フィールドワーク★

春の生き物を探しに村内へ散策に出かけました。杉花粉の飛散ピークは超えたようですが、まだまだティッシュが手放せません。

◆陽当たりの良い斜面を歩いていると一カ所にだけ5枚の花弁の黄色い花を咲かせた植物を見つけました。キジムシロです。「雉筵」と和名で書きますが、地面に生える葉をキジが休むムシロに例えられたことによりです。花言葉は「明るく輝いて」ですがその名の通り鮮やかな小花が周囲を明るく彩ります。

◆石垣の壁に小さな泥の塊がくっついていました。「ドロバチ」の巣です。乾燥した泥に水や唾液などの水分を混ぜて巣を形成し、餌となるイモムシなどの幼虫を入れて産卵、最後に泥で蓋をすると写真のような形となります。幼虫が羽化して巣立つのはもう少し先でしょうか。経過観察が楽しみです。



フキノトウ



ドロバチの巣



ヤマアカガエル



キジムシロ

### 【イベントのご紹介】

※お問合せは、足柄ふれあいの村に電話（0465-72-2010）されるか、『足柄ふれあいの村』のホームページにアクセスしてください。

※今後、変更等がある可能性がありますので『足柄ふれあいの村』のホームページを随時ご確認ください。

#### 「米キャンプ」のご案内

ふれあいの村近辺の田んぼで田植え、草取りや生育状況の確認、稲刈りまでの稲作の行程を体験します。収穫したお米は一部お持ち帰りいただけます！  
※全3回セットでのお申込みとなります。

実施日)①令和7年5月17日(土)～18日(日)【1泊2日】  
②令和7年7月19日(土)【日帰り】  
③令和7年9月13日(土)～14日(日)【1泊2日】

会場)足柄ふれあいの村

対象)家族・親子

定員)50人

参加費)中学生以上：20,000円/3歳以上～小学生：15,000円

申込期間)令和7年3月5日(水)～令和7年4月11日(金)

#### ★来月のファミリーコミュニケーションの日：5月4日(日)

10:00～12:00《自然観察会》小さな虫のフシギな行動をみてみよう！

※参加費は無料です。

※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催中です。

※申込み・問合せは電話などでお気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村（南足柄市広町1507）

電話：0465-72-2010 F A X：0465-72-2013

指定管理者：株式会社アグサ

所管課：神奈川県教育委員会教育局支援部  
子ども教育支援課

U R L：http://www.ashigara-fureai.com/